

令和元年11月22日

第12回

会 議 録

桑折町教育委員会

桑折町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和元年11月22日(金)
- 2 招集場所 桑折町役場 第2会議室
- 3 出席委員 1番委員 柴田 宣 広 2番委員 鈴木 キヨ子
3番委員 小野 紀 章 4番委員 長谷 富 子
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席者 教育長 会 田 智 康
こども教育課長 長谷部 清 治
生涯学習課長 八 卷 靖 之
- 6 書 記 こども教育課主査 佐久間 健 司
- 7 開 会 午後1時35分
- 8 教育長挨拶

11月は実りの秋。様々なところで実りがあり嬉しく思っている。学校教育では、醸小、醸中で「学びのスタンダード推進事業」の授業研究会が行われたが、町で整備したICT教育環境を有効に活用し、新指導要領がめざしている“主体的・対話的で深い学び”に近づくことができ、県教委や参加者から評価をいただいたと思っている。

社会教育・社会体育では、文化祭が盛況のうちに終了し、ふくしま駅伝では、過去最高の成績や区間賞を獲得するなど、すばらしい成績を残すことができた。他にもさまざまな実りがあったので、年度末に教育委員の皆さんにまとめて報告したい。

二つ目は、今日の議事で「令和2年度の教育施策について」、終了後の研修会で「今後10年間の桑折町の教育」と、これからのこと二つを話題としたい。これらの話題は、12月に行う町長と教育委員会の協議の場である総合教育会議の議題でもあるので、事務局の提案・説明のあと、各委員から質問・意見を伺いたい。
- 9 報 告
 - (1) 教育行政報告について こども教育課長より報告
 - (2) 令和元年第6回桑折町議会臨時会報告
 - ①承認第1号 専決処分の承認を求めることについて(生涯学習課)
. 生涯学習課長より報告

②議案第 57 号 桑折町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例(こども教育課)

③議案第 58 号 桑折町立小学校放課後児童保育条例の一部を改正する条例(こども教育課)

..... ②、③一括してこども教育課長より報告

(3) 桑折町保育所等広域入所実施要綱について

..... こども教育課長より報告

10 議 事

(1) 議案第 40 号 令和 2 年度の教育施策について

教育長

この議案は、総合教育会議の協議事項でもあるので、事務局案について各委員より質問・意見をいただきたい。議案第 40 号について、事務局より説明を求める。

こども教育課長

資料により、議案第 40 号のこども教育課に係る部分について説明。

生涯学習課長

資料により、議案第 40 号の生涯学習課に係る部分について説明。

教育長

それでは、各委員から質問・意見をいただきたい。

柴田委員

学校教育係の「3 心の教育の(6)ふるさと教育(西山城跡見学)」は、教科で言えばどの時間に、どのように行うのか。

こども教育課

「総合学習の時間」に行くことを考えているが、各学校の事情・状況があるので、枠を設けなくて 6 年間の在学中に一度実施していただきたいと考えている。

鈴木委員

「桑折町教育支援センター」についてであるが、このセンターはフリースクール的な要素を含んだものなのか。不登校のこどもにどのようにして家から出てきてもらうのか。

こども教育課

学校、家庭、SC、SSW などと連携して、学校に行きづらいのであれば、学校とは異なる環境をつくり、出てきてもらえるようにしたい。

鈴木委員

不登校の原因はそれぞれ異なり、個に応じた専門的なアドバイスが必要と思われる。町でもしっかり分析をし、保護者も納得するようなサポートが必要。

教育長

様々な原因による不登校児童・生徒が増加する中で、法改正があり対応するものである。フリースクールよりは、学校、家庭の連携が可能と考え、子どもにとって前進であるよう、子どもに合った対応をしたい。

柴田委員

保健室登校の子供の対応は。

教育長

当初、保健室登校の子供は、復帰しやすいように学校の一室で対応しようという考えがあったが、学校に行くことに抵抗があるのだから、家から出られなくなるのではないかという懸念があり、学校外でということになった。また、保健室登校の場合、学校には行けるのだから「教育支援センター」とは別に対応したいと考えている。

柴田委員

不登校生徒は平成 30 年度中学校で 11 名で、1 学年約 4 名弱、一クラスに一人いることになる。前年度の小学校に不登校児童はいないの

だから、小学校から引き続いての不登校ではないと思われる。中学校で不登校となったと考えてよいのか。

教育長

平成 28 年度 12 名の不登校者が出たときに、幼・小・中の関係者すべてが集まり、30 人規模の対策会議を行った。その中で、小学校からは、小学校では結果として“不登校児童”に集計されてはいないが、人間関係の問題など苦労した部分が多く、不登校になる手前の欠席日数の児童など、潜在的な不登校児童は多かったということが報告された。

小野委員

最近大きく取り上げられている「教職員の働き方改革」は、子どもの学習の質を落とさずに行う必要がある。「学校運営の改善」とまとめられてしまったことは残念。例えば、部活動などでも、桑折学習塾が民間の学習塾と連携しているように、音楽教室や英語教室など、外部との連携も図りながら行うなど、踏み込んだものがほしかった。

教育長

「学校運営の改善」には小規模校の問題なども含んでいる。指摘のとおり「外部との連携」は、今後、考えていかななくてはならない事項。

長谷委員

教育支援のところが気になった。カウンセラーによっては、病名がつくと（診断が下ると）後は病気の治療と考え、手を引くようなこともあると聞くが、桑折町ではどうか。継続してみているのか。

こども教育課長

SC については、年間を通してお願いしており、病名が確定したらそこで終わりではなく、その後も継続している。

教育長

SC は県の事業で週 1 回が原則であるが、それでは足りないので町予算でもう 1 日お願いし、週 2 回実施している。診断が下ると一区切りということはありがちだと聞くが、そうではないことを SC ばかりでなく、関係者が留意しなければならない。

長谷委員

週 2 回でも十分な対応ができるのか心配である。

こども教育課長

予算やその他の事情がありこれ以上は、困難な状況である。

長谷委員

不登校児童・生徒の保護者などが SC に相談する事例はあるのか。

教育長

相談事例はあるが、本当に相談して欲しいケースで行われなかったこともある。週 2 回が十分有効に活用されているかは疑問もある。

教育長

それではみなさんからの質問・意見が出そろったので、議決をいただきたいが、この議題は、総合教育会議の協議で内容が変わることもある。総合会議に向けての現段階における案として議決をいただきたい。本議案について原案のとおり決定することに異議ございませんか。

(異議なしの声)

教育長

異議がないので、議案第 40 号については原案のとおり決定する。

11 その他

(1) 次回 (12 月) 定例会の開催について

- ・第13回桑折町教育委員会定例会 午後2時 役場第1会議室
- ・第1回総合教育会議 午後3時30分 役場第1会議室

(2) 今後の日程について

(3) その他

12 閉会 午後2時50分